

みんなでつくろう、これから医療

with Heart プロジェクト 2025

報告書

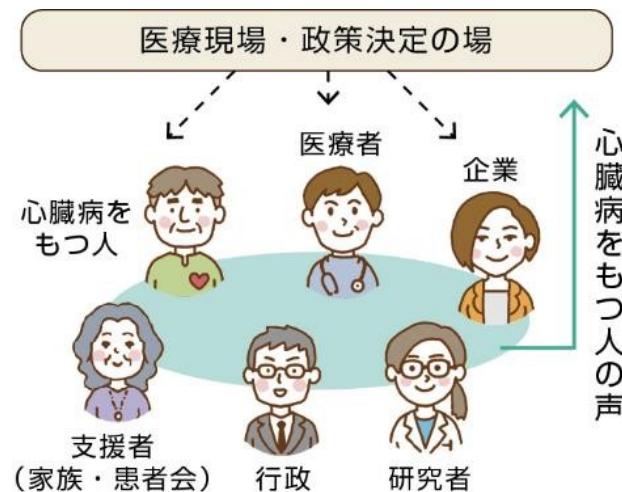
2026年2月2日

報告書概要

プロジェクト背景と目的

本プロジェクトは、みんなでつくろう、これから医療 with Heart プロジェクトは、病気をもつ人のこえ（経験）を医療・社会に還元するシステムの基盤（協働のプラットフォーム）をつくることを目的に、2020年11月にスタートしたプロジェクトであり、以下2点を柱として活動する。

- ① 心臓病にかかわる様々なステークホルダーが集まる協働のプラットフォームを構築する
- ② プラットフォームの中核を担う、心臓病をもつ人の発掘を行い、多様な心臓病の社会課題について理解する人を育成する



2025年実施概要

2025年は「こえを聴きあい、心をつなぐ」をテーマに5年間の集大成として活動を展開した。「つなぐ対話会」では、心臓病をもつ当事者は心臓病がわかった時の気持ちや、今までの経験を振り返り、協賛企業は今までの心臓病をもつ当事者との協働を振り返った。お互いが振り返りを行った上で2回にわたりテーマに沿ってグループディスカッションを行った。

2025 キックオフイベント「こえを聴きあい、未来へつなぐ」を開催し、Heart アンバサダー、協賛企業、プロジェクトメンバー登録者に登壇してもらいパネルディスカッションを開催することで結束を高めた。

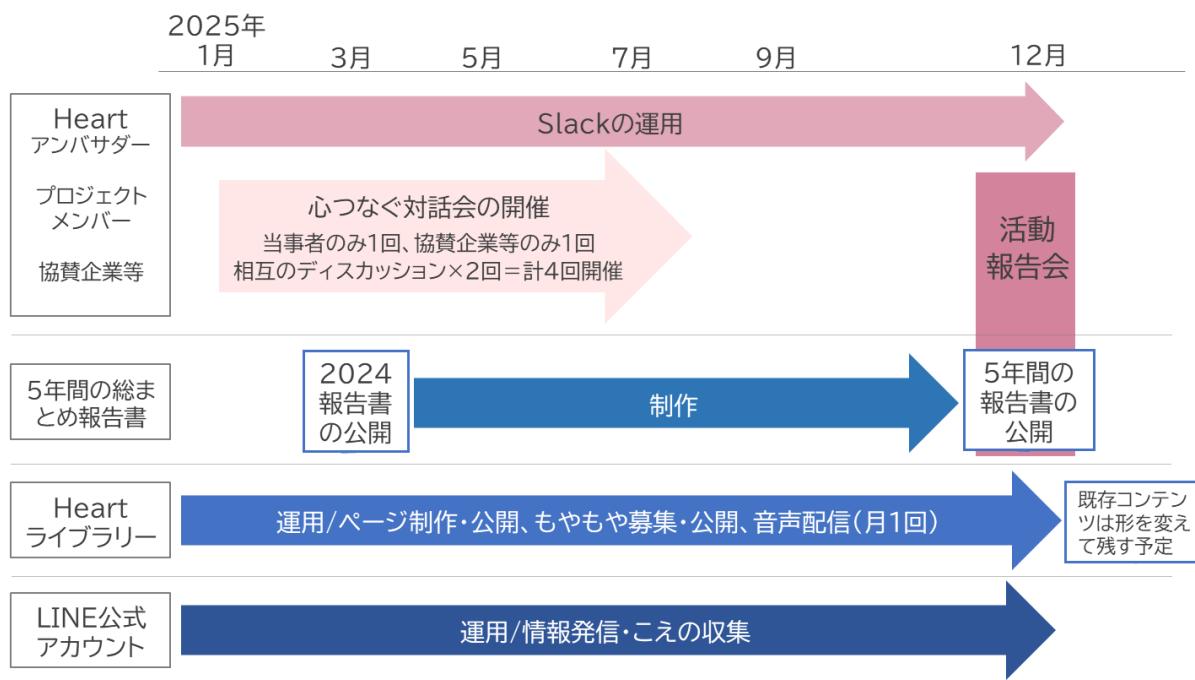
2025年のwith Heart プロジェクト公式LINE（以下、公式LINE）は情報発信に注力し、定期的に配信を行った。with Heart プロジェクト（以下、本プロジェクト）のウェブサイトの更新情報やイベント情報をお知らせすることで、本プロジェクトに関わるきっかけづくりをした。

心臓病の情報サイト「Heart ライブラリー」内の「心臓病のもやもや」というコンテンツでは、様々な心臓病について“もやもや”していることの投稿を掲載し、心臓病をもつ人たちに新たな

発見や共感の場を提供した。

音声配信「心つなぐラジオ」はHeart アンバサダーや後援団体、プロジェクトメンバー登録者をゲストに迎え配信を行った。2025年の12月で最終回となり、2025年は12回配信した。

2025年12月5日に「with Heart プロジェクト最終報告会」を開催した。本プロジェクトとして初となる対面とオンラインでのハイブリッド開催を行った。17名（オンライン含む）が参加し、第1部では2025年の活動および総まとめとして5年間の活動を報告した。第2部では会場の参加者のみでグループに分かれて対話会を行った。



2025年の年間スケジュール

2025年プロジェクト成果

2025年の成果は下記の通りとなる。

登録・配信

※2025年12月31日現在

主な実績	結果
プロジェクトメンバー登録者数	154名（2024年11月より12名増）
公式LINE登録者数	181名（2024年10月より39名増）
公式LINE配信数	31回配信（毎月2回配信）
ビジネスチャットツールSlack参加者数	30名（2023年3月～/事務局除く）
Heartライブラリー（ウェブサイト）	20回更新（毎月2回程度更新）
心つなぐラジオ（音声配信）	12回（2024年10月7日放送開始）

イベント

主な実績	参加者数
心臓病をもつ当事者振り返り会	7名
心つなぐ対話会	20名（第1回12名/第2回8名）
2025 キックオフイベント 「こえを聴きあい、未来へつなぐ」	第1部20名/第2部（交流会）19名
with Heart プロジェクト最終報告会	17名（オンライン含む）

プロジェクト成果

「心つなぐ対話会」では、延べ20名の当事者と企業が協働のプロセスを深く振り返り、相互理解と共に創出した。キックオフイベント「こえを聴きあい、未来へつなぐ」では、Heart アンバサダーの秋山典男氏がモダレーターを務め、パネルディスカッションを実施し、当事者と協賛企業の視点から「こえ」の重要性を広く周知した。

情報発信では、公式LINE（年間31回配信）や「Heartライブラリー」（更新20回）を通して継続的な接点を構築した。年間12回の「心つなぐラジオ」の配信により、「Heartライブラリー」内の「心臓病のもやもや」コーナーへの投稿が促進され、ラジオコンテンツへの感想も多く寄せられた。

ハイブリッドで開催した最終報告会では、5年間の歩みを総括し、Heartアンバサダー、プロジェクトメンバー登録者、協賛企業が立場を超えて互いに高め合えるネットワークを構築する場を創出できた。2025年は、5年間の活動を締めくくるにふさわしい、実りある一年となった。

〈プロジェクト概要〉

プロジェクト名 みんなでつくろうこれからの医療 with Heart プロジェクト 2025

実施期間 2025年1月1日～12月31日

主催 一般社団法人ピーベック

後援 一般社団法人日本循環器協会/公益財団法人日本心臓財団

一般社団法人米国医療機器・IVD工業会

協賛企業 アボットジャパン合同会社/エドワーズライフサイエンス合同会社/日本メドトロニック株式会社
ノバルティス ファーマ株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社（五十音順）

賛同団体 一般社団法人心臓弁膜症ネットワーク/一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会

特定非営利活動法人日本ICDの会/特定非営利活動法人日本マルファン協会

特定非営利活動法人ハートキッズ・ジャパン/特定非営利活動法人ハート・プラスの会
Living With Heart（五十音順）

目次

1. プロジェクト概要	6
1) 背景	6
2) 目的	6
2. 2025 年実績	7
1) 実施期間	7
2) 参加対象者	7
3) 実績数	7
4) 心つなぐ対話会	8
5) 2025 キックオフイベント「こえを聴きあい、未来へつなぐ」	9
6) 公式 LINE アカウントでの情報発信	10
7) 心臓病の情報サイト「Heart ライブラリー」の運営	11
8) 音声配信「心つなぐラジオ」の運営	12
9) with Heart プロジェクト最終報告会の開催	13
10) 2025 年実施体制	16
3. 2025 年の成果	16
賛同団体紹介	18

1. プロジェクト概要

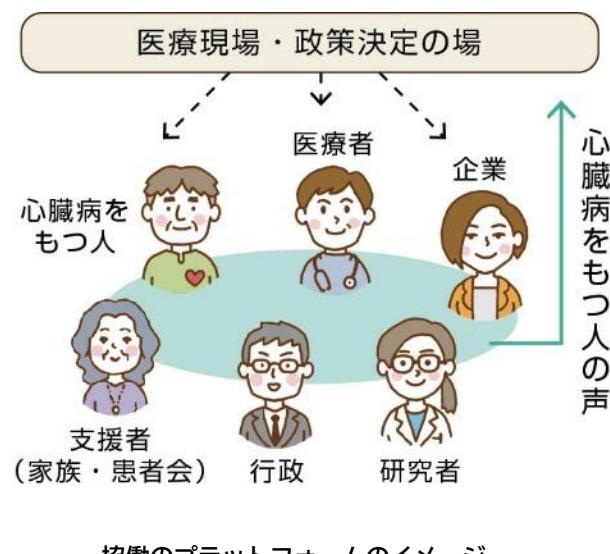
1) 背景

近年、病気をもつ当事者のこえを医療現場や政策決定の場に届け、医療環境を病気をもつ当事者と協働でつくることに関心が寄せられている。2019年12月に施行された「健康寿命の延伸等を図るために心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」（以下、循環器病対策基本法と表記）の中でも、心臓病をはじめとする循環器病対策について、医療・介護サービスを受ける当事者の意見を反映することが求められている。医療や医療政策は、これまで医師等の医療従事者を中心に検討・決定されてきたが、国・都道府県が設置する循環器病対策推進協議会には、医療の受け手である心臓病をもつ当事者が委員として参画している。

一方で心臓病は、様々な要因で引き起こされ、またその状況や進行も多様なことから、先行して取り組まれているがん対策のように、治療の経過や医療ニーズが一様ではない。そのため、同じ病名であっても心臓病をもつ人の課題は多種多様となっている。また希少難治性疾患のように、患者数が少ない心臓病も存在し、心臓病領域が抱える課題や心臓病をもつ人特有のニーズが十分に理解されているとは言い難い状況にある。

一例として、循環器病対策推進協議会の委員として心臓病の特有の課題を理解し、自身の医療ニーズや医療的な課題へ意見を言えるような当事者の存在が必要不可欠である。そのためには、基礎的な医療や患者の権利等の知識を身につけ、当事者が自身の医療等のニーズを捉え、分かりやすく伝えていく必要があり、心臓病の当事者リーダーの育成が求められている。

本プロジェクトはこうした課題意識を受け、2020年11月に米国に本社をおく医療機器メーカーの業界団体である、一般社団法人米国医療機器・IVD工業会（AMDD）の後援でスタートした。



2) 目的

みんなでつくろう、これから医療 with Heart プロジェクト（以下、with Heart プロジェクト）の最終的なゴールは、病気をもつ人のこえ（経験）を医療・社会に還元するシステムの基盤

をつくり「心臓病があっても大丈夫」と言える社会を創造することである。そのため、以下の2点を活動目標とする。

- ① 心臓病をもつ人や患者団体、医療者、医療に関する企業等が集まり、より良い医療環境づくりに向けた協働のプラットフォームを構築する
- ② プラットフォームの中核を担う心臓病をもつ人の発掘を行い、基礎的な医療や患者の権利等の知識を身につけ、自身の医療ニーズを捉え、社会的課題として分かりやすく伝えられる心臓病をもつ人またはその家族を育成する

2. 2025年実績

1) 実施期間

2025年1月1日～2025年12月31日

2) 参加対象者

心臓病をもつ人・もっていた人、その家族、心臓病に関する患者会等の支援団体、協賛企業、その他プロジェクトに興味がある人

3) 実績数

登録・配信

※2025年12月31日現在

主な実績	結果
プロジェクトメンバー登録者数	154名 (2024年11月より12名増)
公式LINE登録者数	181名 (2024年10月より39名増)
公式LINE配信数	31回配信 (毎月2回配信)
ビジネスチャットツールSlack参加者数	30名 (2023年3月～/事務局除く)
Heartライブラリー(ウェブサイト)	20回更新 (毎月2回程度更新)
心つなぐラジオ(音声配信)	12回 (2024年10月7日放送開始)

イベント

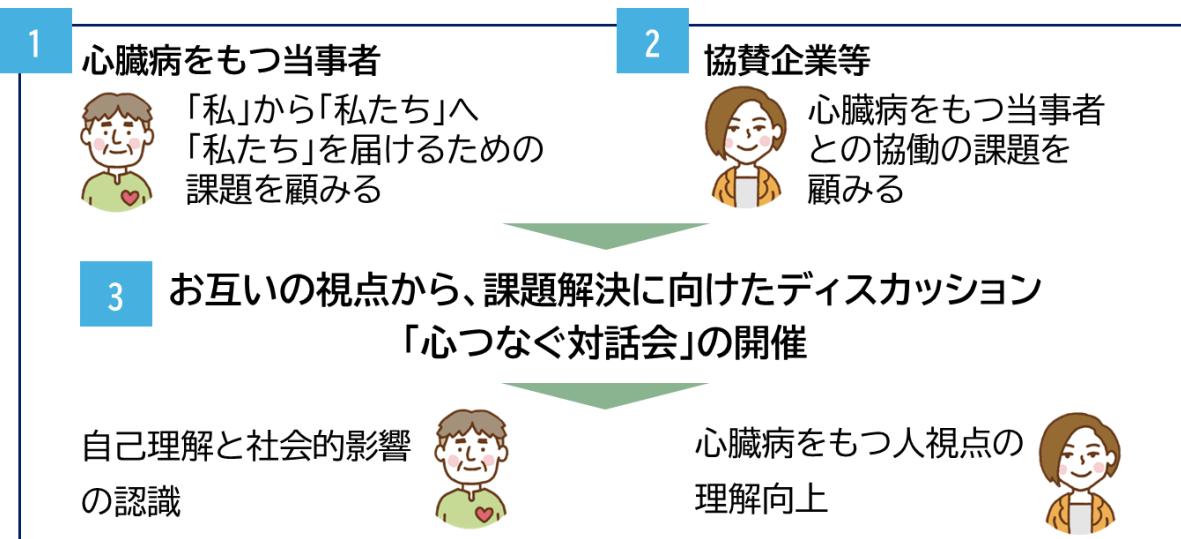
主な実績	参加者数
心臓病をもつ当事者振り返り会	7名
心つなぐ対話会	20名 (第1回12名/第2回8名)
2025 キックオフイベント 「こえを聴きあい、未来へつなぐ」	第1部20名/第2部(交流会)19名
with Heartプロジェクト最終報告会	17名 (オンライン含む)

4) 心つなぐ対話会

心臓病をもつ当事者*が、ステークホルダーとの協働を通じて成長するために「パートナーシップミーティング（イベント名：心つなぐ対話会）」を開催し、ディスカッションを行った。将来的に心臓病をもつ人のこえ（心臓病全体の課題や意見）を、プロジェクトに留まらず、医療環境づくりの場（医療現場・企業・行政等）に届けられるよう、後押しした。

*心臓病をもつ当事者

Heart アンバサダー4名を含む、心臓病全体の課題解決に向け、積極的な活動を希望する本プロジェクトの当事者メンバ



上記の図中にある順番で振り返りやディスカッションを行った。

1. 心臓病をもつ当事者

心臓病がわかったときの気持ちや、今までの経験の振り返る「心臓病をもつ当事者の振り返り会」を開催した。

2. 協賛企業等

事務局からのインタビューで、これまでの心臓病をもつ当事者との協働の課題を振り返った。

3. 「心つなぐ対話会」の開催

上記1,2の通り、心臓病をもつ当事者、協賛企業がそれぞれ振り返りをした上で、2回にわたりトータクテーマに沿ってグループディスカッションを行った。

概要

実施日：

心臓病をもつ当事者の振り返り：2025年2月28日

協賛企業の振り返り：2025年3月17日～27日

心つなぐ対話会：2025年6月20日/7月25日

開催方法：オンライン（Zoomミーティング）

開催報告ページ：

【心臓病をもつ当事者の振り返り】<https://ppecc.net/250228-kaisai/>

【心つなぐ対話会】<https://ppecc.net/250725-kaisai/>

心つなぐ対話会テーマ詳細

開催日程	テーマ	参加人数
6月20日	テーマ1：立場の違う人とのコミュニケーションで違和感を覚えた言葉や言い回し テーマ2：立場の違う人とのコミュニケーションでこんな風に言われたら、安心した・伝わったと思えたこと	12名
7月25日	テーマ1：自分が当事者として発信する場合、何を発信したいか テーマ2：当事者という立場から発信される情報はどのようなことが求められているか	8名



当日ご参加いただいたみなさん（6月20日）

5) 2025 キックオフイベント「こえを聴きあい、未来へつなぐ」

2025年の活動のキックオフとしてパネルディスカッションを行った。Heart アンバサダー、協賛企業、プロジェクトメンバー登録者に登壇してもらい、活動終了に向けて関係者の結束を強化することを目的とした。

第1部では、Heart アンバサダーであり特定非営利活動法人ハートキッズ・ジャパン 理事の秋山典男氏、心臓病をもつ当事者である渡辺朋和氏、一般社団法人米国医療機器・IVD工業会（AMDD）のメンバーがパネルディスカッションを行った。第2部では、グループに分かれて参加者同士が感想や意見を語り合う交流会を行った。

概要

開催日：2025年3月24日

開催方法：オンライン（Zoomミーティング）

参加人数：第1部20名/第2部（交流会）19名

開催報告ページ：<https://ppecc.net/250324-kaisai/>



当日ご参加いただいたみなさん

イベントバー

6) 公式 LINE アカウントでの情報発信

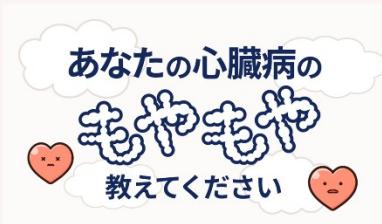
2025年は情報発信に注力し、定期的に配信を行った。配信した内容は下記の通り。with HeartプロジェクトのウェブサイトやHeartライブラリーの更新情報、イベント情報などをお知らせすることで、本プロジェクトに関わるきっかけづくりをした。

配信日	配信内容
1月9日	新年のご挨拶、心臓病のもやもや投稿募集
1月16日	キャリアストーリー、心臓病のもやもや新着投稿、心臓病のもやもや投稿募集、賛同団体からのお知らせ（心臓弁膜症ネットワーク）
1月30日	キャリアストーリー、心つなぐラジオ#007
2月7日	「心臓病をもつ当事者振り返り会」開催告知
2月13日	2024年活動報告書掲載のお知らせ、キャリアストーリー、心臓病のもやもや新着投稿、心臓病のもやもや投稿募集
2月27日	キャリアストーリー、心つなぐラジオ#008
3月1日	2025 キックオフイベント「こえを聴きあい、未来へつなぐ」開催告知
3月13日	「心臓病をもつ当事者振り返り会」開催報告、キャリアストーリー、心臓病のもやもや新着投稿
3月14日	2025 キックオフイベント「こえを聴きあい、未来へつなぐ」参加申込案内
3月27日	キャリアストーリー、心つなぐラジオ#009
4月10日	キャリアストーリー、2025 キックオフイベント「こえを聴きあい、未来へつなぐ」開催報告
4月24日	キャリアストーリー、心臓病のもやもや新着投稿、心臓病のもやもや投稿募集
5月15日	キャリアストーリー、心つなぐラジオ#010、心臓病のもやもや新着投稿
5月29日	キャリアストーリー、心つなぐラジオ#011
6月12日	キャリアストーリー、心臓病のもやもや新着投稿、心臓病のもやもや投稿募集
6月19日	LINE登録者向けアンケートのお願い

6月26日	キャリアストーリー、心つなぐラジオ#012
7月17日	キャリアストーリー、心臓病のもやもや新着投稿、LINE登録者向けアンケートのお願い
7月31日	キャリアストーリー、心つなぐラジオ#013
8月7日	ピーベックからのお知らせ（健康経営EXPO出展）
8月14日	キャリアストーリー、心臓病のもやもや新着投稿、心臓病のもやもや投稿募集
8月21日	LINE登録者向けアンケート集計結果報告
8月28日	キャリアストーリー、心つなぐラジオ#014
9月11日	キャリアストーリー、心臓病のもやもや新着投稿、心臓病のもやもや投稿募集
9月25日	キャリアストーリー、心つなぐラジオ#015
10月16日	心臓病のもやもや新着投稿、心臓病のもやもや投稿募集
10月30日	「最終報告会」開催告知、with Heartプロジェクトへのメッセージ募集、心つなぐラジオ#016
11月13日	「最終報告会」参加申込案内、with Heartプロジェクトへのメッセージ募集、心臓病のもやもや新着投稿
11月20日	心つなぐラジオ#017、「最終報告会」参加申込案内
12月11日	心臓病のもやもや新着投稿、「最終報告会」開催報告
12月25日	心つなぐラジオ#018、活動報告書掲載予告、LINE公式アカウント運営終了のお知らせ

7) 心臓病の情報サイト「Heartライブラリー」の運営

心臓病に関わる人たちの経験談や、心臓病に関する様々なコンテンツを掲載した。「心臓病のもやもや」というコンテンツでは、心臓病について“もやもや”していることの投稿を掲載することで、心臓病をもつ人たちに新たな発見や共感の場を提供できた。



あなたの心臓病の
もやもや
教えてください

心臓病をもつ人のホンネを集めたコンテンツ



心臓病をもつ人の
体験談・コラム



心つなぐ
ラジオ
with Heartプロジェクト



心臓病に関わるさまざまな企業や団体、医療関係者のみなさんと社会をより深くつなげるラジオ番組(音声配信)

Heart アンバサダーが運営するウェブサイト
[「はとらく」とのコラボレーションコンテンツ](#)

Heart ライブラリー : <https://heartlibrary.ppecc.net/>

8) 音声配信「心つなぐラジオ」の運営

心臓病をもつ当事者の「こえ」を集める手段の1つとして2024年10月7日から運営を開始した。配信によって、内容への感想が寄せられただけでなく、「Heart ライブラリー」内の「心臓病のもやもや」コーナーへの投稿も促進された。2025年はHeart アンバサダーや後援団体、プロジェクトメンバー登録者をゲストに迎え配信を行った。配信は2025年12月の配信で最終回となり、2025年は12回配信した。

概要

配信日：2024年10月7日～2025年12月22日

配信プラットフォーム：[stand.fm/Spotify](#)

配信頻度：月1回（※2024年は月2回）

配信アーカイブ：<https://heartlibrary.ppecc.net/category/radio>

配信日と配信内容一覧

配信日	タイトル
2024年10月7日	#001 はじめまして！心つなぐラジオです
2024年10月21日	#002 心つなぐラジオはこんなラジオです！
2024年11月5日	#003 心臓病のもやもや【日常生活編】
2024年11月18日	#004 心臓病のもやもや【医療/治療編】
2024年12月2日	#005 心臓病のもやもや【仕事/職場編】
2024年12月16日	#006 心臓病のもやもや【学校生活編】【当事者と関わる立場の目線から】

2025年1月27日	#007 【心つなぐトーク】特定非営利活動法人ハートキッズ・ジャパン（前編）
2025年2月17日	#008 【心つなぐトーク】特定非営利活動法人ハートキッズ・ジャパン（後編）
2025年3月21日	#009 【心つなぐトーク】心臓病をもちながら働く人の“こえ”（前編）
2025年4月28日	#010 【心つなぐトーク】心臓病をもちながら働く人の“こえ”（後編）
2025年5月26日	#011 【心つなぐトーク】病気になったことで出会った世界で（前編）
2025年6月23日	#012 【心つなぐトーク】病気になったことで出会った世界で（後編）
2025年7月28日	#013 心つなぐ対話会「言葉と伝え方を見直す」（前編）
2025年8月25日	#014 心つなぐ対話会「言葉と伝え方を見直す」（後編）
2025年9月22日	#015 心つなぐ対話会「それぞれの立場から情報発信を考える」（前編）
2025年10月27日	#016 心つなぐ対話会「それぞれの立場から情報発信を考える」（後編）
2025年11月17日	#017 12/5 開催 with Heart プロジェクト最終報告会の見どころ
2025年12月22日	#018 最終回 5年間ありがとうございました！



心つなぐラジオロゴ

9) with Heart プロジェクト最終報告会の開催

本イベントは5年間の締めくくりと5年間の活動報告を目的とし、2025年12月5日に本プロジェクトとして初となる対面（ビジョンセンター東京八重洲）とオンライン（Zoomウェビナー）でのハイブリッド開催を行った。

第1部では、はじめに「こえを聴きあい、心をつなぐ」をテーマとした2025年の活動報告を行った。次に、ダイジェスト動画を通して、5年間にわたり活動してきた本プロジェクトの軌跡を振り返った。

最後に、Heart アンバサダーの秋山典男氏、猪又竜氏、協賛企業のボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社 大戸暖子氏、日本メドトロニック株式会社 中山哲也氏が「それぞれの立場から with Heart プロジェクトの5年間を振り返って」というテーマでパネルディスカッション

を行った。

第2部では、会場参加者のみでグループに分かれて「心つなぐ対話会」を行い「“心臓病があるても大丈夫と言える社会”の実現に向けてあなたができることは何ですか」をテーマに、参加者がそれぞれの立場から意見を出し合い、交流を深めた。

概要

実施日：2025年12月5日

開催会場：ビジョンセンター東京八重洲/オンライン（Zoomウェビナー）

参加人数：17名（オンライン含む）

開催報告ページ：<https://ppecc.net/251205-kaisai/>



イベントバナー

with Heart プロジェクト最終報告会の様子





10) 2025年実施体制

主催	一般社団法人ピーベック
後援	一般社団法人日本循環器協会 公益財団法人日本心臓財団 一般社団法人米国医療機器・IVD工業会
協賛企業 (五十音順)	アボットジャパン合同会社 エドワーズライフサイエンス合同会社 日本メドトロニック株式会社 ノバルティス ファーマ株式会社 ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社 ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
賛同団体 (五十音順)	一般社団法人心臓弁膜症ネットワーク 一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会 特定非営利活動法人日本ICDの会 特定非営利活動法人日本マルファン協会 特定非営利活動法人ハートキッズ・ジャパン 特定非営利活動法人ハート・プラスの会 Living With Heart
事務局 (一般社団法人ピーベック)	桑村美奈子 宿野部香緒里 津野まき子 齋藤真菜

3. 2025年の成果

2025年は「こえを聴きあい、心をつなぐ」をテーマに、2020年からスタートした本プロジェクトの5年間の集大成として活動を展開した。2025年の成果は以下の通りとなる。

- 「心つなぐ対話会」を開催し、心臓病をもつ当事者、協賛企業合計20名（2回開催の合計）が参加した。参加者がそれぞれの経験や協働のプロセスを振り返ることで相互理解やお互いの歩みを尊重し合う場を創出した。
- 2025 キックオフイベント「こえを聴きあい、未来へつなぐ」ではHeartアンバサダー、協賛企業、プロジェクトメンバー登録者が登壇するパネルディスカッションを実施した。パネルディスカッションではHeartアンバサダーの秋山典男氏がモダレーターを務め、リーダーシップを発揮した。心臓病をもつ当事者、協賛企業、それぞれの視点をから「こえ」の重要性を広める機会となつた。

- 公式LINEの配信に注力し（年間31回配信）、「Heartライブラリー」の更新（年間20回更新）を通じて、本プロジェクトのイベントに参加したことのない人に対して関わるきっかけを継続的に提供した。
 - 「心つなぐラジオ」を年間12回配信し、Heartアンバサダーや後援団体、プロジェクトメンバー登録者など多様なゲストを招くことで、より親しみやすく、身近に感じられる配信を行った。配信を通じて、内容への感想が寄せられただけでなく、「Heartライブラリー」内の「心臓病のもやもや」コーナーへの投稿も促進された。
 - 「with Heartプロジェクト最終報告会」を対面とオンラインのハイブリッド形式で開催し、17名（オンライン含む）が参加した。2025年の活動報告と5年間をまとめた活動報告を行った。5年間の活動を通じて、Heartアンバサダー、協賛企業、プロジェクトメンバー登録者が立場を超えて互いに高め合える関係性を築く場を創出することができた。
- 2025年はプロジェクトの最終年を締めくくるにふさわしい、実りある一年となった。

賛同団体紹介

五十音順

The image shows the Heart Valve Voice logo (a stylized heart with a valve) and the website's main content area. The content is organized into several sections: a top banner with the text '～心臓弁膜症をもつ人のいまとこれからを、より良いものにするために～', a '一般社団法人弁膜症ネットワーク' section, a '心臓弁膜症ネットワークとは' box, and several colored boxes for 'ウェブ' (Web), 'ウェブリアル' (WebReal), and 'リアル' (Real) sections. Each section contains text and links related to heart valve disease awareness and support.

一般社団法人心臓弁膜症ネットワーク
(HP : <https://heartvalvevoice.jp/>)

特定非営利活動法人日本 ICD の会

(HP : <https://www.japan-icd.org/home/>)

特定非営利活動法人ハートキッズ・ジャパン

(HP : <https://www.heartkidsjapan.com/>)

(HP : <https://www.normanet.ne.jp/~h-plus/>)

Living With Heart
みんなの生き方

<Living With Heartについて>
「百聞は一見にしかず」と言いますが、音楽で説明するよりも写真や動画のほうが伝わりやすいことがあります。このプロジェクトは先天性心疾患者本人である複数、心臓血管外科医の立石、看護師の落合が「先天性心疾患者を持つ人が、いきいきと、自分らしく生きていける社会になるために、できることをやる」というビジョンのもとに行なうものです。先天性心疾患者さんを持つ人やご家族が動画に登場する先輩・後輩患者さんの姿を見て、ローモデルとしてもらうことを一番の目的としています。また、医院では見ることのできない患者さんやご家族の社会や家庭での生活の様子を知ってもらうことで、医療者に今後の支援のあり方について考えてもらうきっかけになればと思っています。

 [YouTube](https://www.youtube.com/channel/UCJUEBGGEct_U106fr2GBIHg/featured) https://www.youtube.com/channel/UCJUEBGGEct_U106fr2GBIHg/featured

YouTubeで動画を配信しています。「Living With Heart ～みんなの生き方～」と検索してください。

Living With Heart

(You Tube :

https://www.youtube.com/channel/UCJUEBGGEct_U106fr2GBIHg/featured)



みんなでつくろう、これからの医療 with Heart プロジェクト 2025 報告書

発行日：2026年2月2日

発行者：一般社団法人ピーベック

住 所：〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-33-1 サンライズプラザ 501

電 話：03-6279-5669（受付時間：平日 10 時～17 時）

メール：withheart@ppecc.jp

with Heart プロジェクトウェブサイト：<https://ppecc.net/>

一般社団法人ピーベックウェブサイト：<https://ppecc.jp/>